

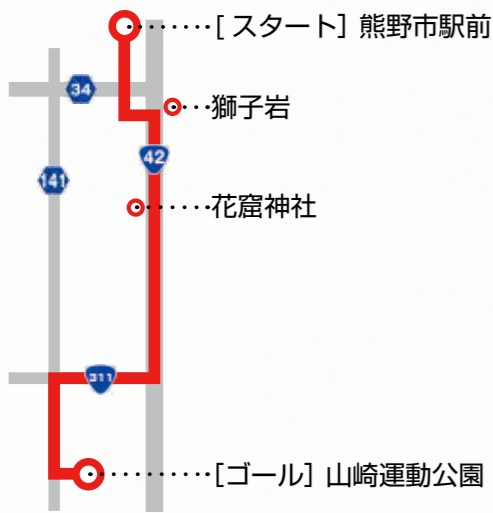
三重県では4月8日から9日にかけて総勢184名のランナーが走行します。

熊野市では、熊野市駅前から山崎運動公園までの4.3kmのルートを下記の5名を含む24名のランナーが走行し聖火を繋ぎます。

また、ゴールの山崎運動公園では、聖火の到着を祝うセレモニーが開催される予定です。

▶聖火リレー（熊野）

【日時】 **4月9日（木）**
午後5時50分 スタート!!



聖火ランナー（熊野）三重県実行委員会枠

向井 治（紀宝町）、逢野 響（紀宝町）、
内田 鈴子（熊野市）、北見 悠加（御浜町）、
磯野 貴理子（南伊勢町）

※上記以外の聖火ランナーは、東京2020オリンピック聖火リレープレゼンティングパートナー4社などに割り当てられています。

▶最新情報は県のホームページをチェック!

各ランナーの走行場所や周辺道路での交通規制情報など、詳しくは県のホームページをご覧ください。

三重県 聖火リレー で検索

※上記の情報は新型コロナウイルスの影響などにより変更・中止となる場合があります。

前向きに一步一步進んでいく 気持ちを伝えたい



向井 治 Mukai Osamu

元紀宝町消防団団長。紀伊半島大水害での災害対応により消防団として防災功労者内閣総理大臣表彰（H25）を受彰。

紀伊半島大水害のときに町の消防団長だったということもあり選定され、うれしいことではあります。一番いいところをもらっているという気持ちもあります。すでに消防団は引退させてもらっていますが、みんなの力を合わせて活動することの重要性や消防団で得た経験を胸に、紀伊半島大水害に関わった方々の代表という気持ちで走りたいと思います。

また、紀伊半島大水害では多くの方が被災されました。ものを作ったり道を作ったりするのはできて、人間の心はそう簡単にはいなくて、すぐに立ち直れる人もいますが、なかなか立ち直れない人もいます。それはしかたないことですが、毎日ちよつとずつ前進していくという気持ちが必要なことだと考えていますので、立ち止まらずに毎日前を見ながら一步一步進んでいくといった想いが、聖火リレーを通してみんなに伝わっていきばありがたいと思います。

東京2020オリンピックに向けて、3月26日から121日間、聖火が全都道府県をめぐる聖火リレーが行われます。

この聖火リレーに紀宝町を代表し2名のランナーが、熊野市駅前から山崎運動公園までのルートの一部を走行します。



聖火を、繋ぐ 東京2020オリンピック聖火リレー

勇気、希望、感謝、恩返しを 伝えられるように走りたい



逢野 響 Ouno Hibiki

平成14年生まれ、父母姉の4人家族。県立伊賀つばさ学園の高等部2年生。

体を動かすことや、絵を描くことが大好きな僕です。この紀宝町に生まれて小さいときからたくさんの人に関わってもらい、手助けをたくさん貰いながら成長しました。そんな感謝の気持ちや、僕が色んなことにチャレンジすることによって勇気や希望を伝えることができたら嬉しいなと思います。今回聖火ランナーリレーに応募しました。選ばれたときは、本当に選ばれたのかと驚きましたが、とても嬉しかったです。

今は毎朝、学校で授業の前に聖火リレーの練習として、校庭をマラソンしています。

紀宝町民として恥ずかしくないように、勇気、希望、感謝、恩返しを伝えられるように元気に楽しく走りたいと思います。



聖火リレーに向け練習する逢野さん